

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6~7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	文化芸術観光創造事業費	鹿野町を拠点に演劇を通じて地域振興を図っている「鳥の劇場」と連携し、舞台芸術を活用した特色ある観光誘客に取り組むことで滞在型観光の促進及び観光消費の拡大をめざす。	①オトナ学園×鳥の劇場モニターツアーの実施 日程：令和6年10月16日（水）、10月23日（水）、10月30日（水） 参加者数：計21名 ※日本海テレビ「冠ルーカ」にてワークショップの様子を放送。（令和7年3月1日（土）） ②「鳥取砂丘撮影体験×鳥の劇場ワークショップ」仲間作りモニターツアーの実施 日程：令和6年10月14日（月祝） 参加者数：8名 ③「ONSENガストロノミーウォーキング」の開催 日程：令和6年9月21日（土） 参加者数：200名	モニターツアーの実施により、商品造成に繋がるための課題を検証することができた。 また、ONSENガストロノミーウォーキングについては、昨年度に比べ参加者数も増加・高い満足度を記録し、鹿野城下町や「鳥の劇場」の認知度の向上につなげることができた。	引き続き鳥の劇場と連携した新たな旅行商品開発のためのモニターツアーを実施する。また「ONSENガストロノミーウォーキング」については参加者集客のため引き続き情報発信を強化し、リピーターの増加に向けコースや提供食材などを検討する。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	176
2	○	周遊観光促進事業費（物価高騰対応臨時交付金）	本市の観光スポット等を巡る格安周遊観光タクシーの運行支援を行うことで外国人観光客向け二次交通を充実させ、インバウンド誘客と周遊促進を図る。	外国人観光客を対象とする、3時間1台4,000円で乗車ができるぐるっと鳥取周遊タクシーの運行支援を行った。 (ねんりんピック開催期間中のみ、参加者（日本人）利用) ・運行台数：3,086台（うち国外3,028台、国内（ねんりんピック参加者利用）：58台） ・利用客数：7,174人（うち国外6,982名、国内（ねんりんピック参加者利用）：192名）	本市の観光スポット等を巡るぐるっと鳥取周遊タクシーの運行支援により二次交通を充実させることで、外国人観光客の誘客と周遊促進を図った。	引き続き、外国人観光客を対象に運行支援を行うことで、インバウンド需要のさらなる獲得に取り組む。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	177
3	○	大阪・関西万博誘客アクション事業費	2025年4月13日から184日間にわたり大阪市内を会場に「大阪・関西万博」が開催される予定であり、20年ぶりに日本で開催される国際博覧会には、国内外から約2,820万人の来場が見込まれている。この好機を捉え本市の認知度を向上させることで誘客促進を図る。	大阪・関西万博誘客PRイベント「きなんせとつどり 砂の国フェスタ」を開催 日 時：令和6年9月14日（土）～9月23日（月） 計10日間 会 場：天王寺公園「てんしば」 内 容：ビリケン＆麒麟獅子コラボ砂像展示、砂丘の砂を使った砂場あそび体験、鳥取観光PRブース、鳥取物産販売、傘踊り披露など 来場者：約8,300人	万博開催を控えた大阪市内で鳥取市の観光PRを大々的に行うことで、イベント会場を訪れた国内外からの多くの来場者に鳥取市の魅力を発信することができた。	万博開催期間中に、万博会場において本市の観光PRを大々的に行うことで、知名度向上を図り、国内外からのさらなる誘客につなげる。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	178
4	○	砂の美術館管理運営費	本市を代表する観光施設「鳥取砂丘砂の美術館」において、世界トップレベルの砂像の制作をはじめ、展示テーマに合わせた集客イベントなどを実施し、砂丘周辺への誘客促進を図る。	①砂像制作等に関する事業の実施 ・砂の美術館総合プロデュース業務 ・砂像制作用の砂精製業務 ・砂像彫刻用砂の入替業務 ②指定管理施設の管理及び運営等 ・鳥取砂丘情報館外壁改修 ・鳥取砂丘情報館空調更新	コロナ禍を経て5年ぶりの通常開催となった第15期展示の入館者数は380,186人となり経済効果は113億6千万円となるなど、前年度より約3万2千人増加し、地域経済の活性化や観光振興に貢献することができた。	時間外労働の上限規制の影響等によりバスツアーでの団体客が大幅に減少する中、外国人観光客や国内個人旅行客の増加に向け、集客イベントの実施やSNS等を通じた広報の充実、OTAなどによる販売力強化を図り、さらなる入館者数の増加を目指します。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	179
5		砂丘管理事業費	本市を代表する鳥取砂丘の受入環境の整備や、観光客に対するおもてなしの向上に取り組むとともに、鳥取砂丘未来会議など関係団体と連携し、保護保全や利活用に取り組む。	①砂丘海岸の漂着ゴミの処理 ②砂丘及び周辺の景観保全と利活用 ③大型連休等における砂丘周辺道路の渋滞対策 ④おもてなし講座の開催	砂丘海岸の清掃や除草等により、景観の保全を図った。 また大型連休には砂丘周辺道路の渋滞対策を行い、渋滞の緩和を図ることができた。 観光事業者に向けたおもてなし講座を実施し、インバウンドの視点から滞在型観光を促進するための契機とした。	県等と連携し、美しい鳥取砂丘の景観を保全するための除草や清掃等に取り組むとともに、砂丘周辺の渋滞対策など観光客の受入体制の充実に取り組む。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	181

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6～7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
6	○	広域観光開拓・推進事業費	本市を含む麒麟のまち圏域1市6町が連携し、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の運営や活動に対し支援を行い、圏域への誘客や観光消費額の拡大による地域経済の活性化を図る。	<p>①麒麟のまち観光局事務局体制の強化 専務理事を含む6名体制</p> <p>②観光DXの推進による圏域のファンづくりとデータ分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「このへん共和国」会員募集のためのキャンペーン展開や圏域周遊促進事業の展開及び参加店の募集・登録・サポート等を実施。 ・令和7年3月末現在：会員数9,981人、参加店数200店舗 <p>③山陰海岸ジオパークやローカル鉄道を活用した流通整備事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3DMO連携 山陰海岸ジオパーク周遊ルート造成（モデルルート3件、コンテンツ12件を造成） ・ローカル鉄道を活かした周遊促進（ガイド付きコンテンツ15件を造成、FAMトリップ2回実施） <p>④マーケティング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麒麟のまちWEBアンケート調査への送回答件数：2,763件 <p>⑤圏域観光商品等のWEBを通じた販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR西日本と連携したインバウンド向け「楽しい鳥取バス」（鉄道周遊旅券と地元体験クーポンのセット商品）の販売展開 	1市6町で形成する麒麟のまち圏域への誘客効果や観光消費拡大に伴う経済効果を高めるため、DXシステム「このへん共和国」の運用を軸に情報発信力強化や各種キャンペーンの取り組みによる周遊促進を図った。また、インバウンド向けの各種商品造成やオペレーション（受注）体制の構築を行うことで、受入環境の向上を図った。	観光DX等を通じた効果的なマーケティング分析により圏域への観光誘客を図るとともに、海外向け販路の開拓やツアーオペレーション機能の充実によるインバウンド需要の獲得と受入体制のさらなる強化を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	181
7	○	山陰海岸ジオパーク事業費	ユネスコの再認定審査を見据え、山陰海岸ジオパーク推進協議会や関係府県市町などと連携し、鳥取砂丘をはじめとするジオサイトの保全や、教育、観光など各分野での積極的な活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習支援…市内小・義務教育学校、鳥取大学付属小学校45校中40校（2,057人）の校外学習を支援 ・調査研究に関する支援及びガイド研修の実施 ・ガイド養成講座を全3回開催し、延べ44人が参加 ・散策モデルコース看板等の設置 …道の駅西いなばは気楽里へ新規にPR看板を設置 ・各種負担金の拠出（山陰海岸ジオパーク推進協議会、山陰海岸ジオウォーク）…山陰海岸ジオウォーク参加者401人 ・多鯨ヶ池周辺整備の推進…多鯨ヶ池弁天駐車場約2,000mの舗装整備を実施、地元団体による多鯨ヶ池湖畔の木道36.22m延伸を補助金により支援 	教育、ハード整備、ソフト事業など多方面で山陰海岸ジオパークのジオサイトの磨き上げ、普及啓発を図ることができた。また、世界ジオパーク再認定審査では4年間の再認定（グリーンカード）を獲得することができた。	引き続き人材育成や地元団体の活動に対する支援等を行い、地域と一緒にして山陰海岸ジオパークを活用した取り組みを行っていくとともに、リゾートホテルの開業等も見据え、鳥取砂丘や多鯨ヶ池などの滞在環境の向上に努める。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	182

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6~7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
8	○	まちなか観光推進事業費	復元整備が進む史跡鳥取城跡周辺をはじめ、まちなか観光の振興を図ることで、滞在型観光の推進につなげる。	①鳥取城跡におけるライトアップの実施 令和6年3月25日（日）～12月1日（日） 計252日間 ※桜の開花と併せて点灯開始 ②鳥取城跡周辺の公衆無線LAN（無料Wi-Fi）環境の維持 ③二ノ丸三階櫓ARの拡充 城跡音声ガイド機能及び眺望ガイド機能を追加し令和6年9月27日に運用開始 アクセス数（表示回数）：R6月平均 約1,500回 ④周辺駐車場満空情報システムの運用 ⑤賑わいイベント実施への支援 ・鳥取市観光コンベンション協会による「鳥取城跡ときめきマルシェ」を計8回開催（4/27, 4/25, 6/22, 7/27, 8/24, 9/28, 11/10） 来場者数25,097人 ・若桜街道活性化協議会（地元商店街有志）による「若桜街道ひらりさんぽ」を開催（9/28） 来場者数約1,000人 ⑥まちなか夜間景観形成事業の継続 若桜街道商店街の照明演出（影絵・提灯）を商店街全体に拡充し、令和6年8月1日（木）～令和7年3月31日（月）の計241日間点灯	鳥取城跡ライトアップの継続とそれに伴うにぎわいイベントの実施、ARを用いた観光コンテンツの拡充により、城跡周辺の賑わい創出につながった。また、令和5年度に若桜街道商店街で実証実験として行った照明演出を充実するとともに、地元商店街有志がイベントを企画・運営したこと、夜間の商店街エリアの魅力向上を図ることができた。	鳥取城跡の復元整備の進捗に併せさらなる城跡ライトアップの拡充を行うとともに、久松公園を活用したにぎわいイベントを継続実施することで城跡周辺の一層の賑わい創出を図る。また、商店街エリアの照明演出を拡充することで鳥取城跡から中心市街地への周遊を促進するほか、若桜街道商店街有志によるにぎわい創出への取組みを支援することで、鳥取城跡など、まちなかエリアの賑わいづくりや観光資源の磨き上げを進める。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	182
9	○	わったいな祭事業費	地域住民団体との共催によるイベントをわったいな祭の一環として開催、城下町の空家利用店舗、特産品販売、文化団体の作品展示など地元（じげ）のひと・ものを集める取組を実施する。また、旧鹿野小学校敷地内の新施設建設を見据え、城下町の空き家利用店舗の出店を鳥の劇場施設に拡大し、舞台芸術を核とした賑わいづくりに向けた事業を実施する。	・城下町並みPR事業：「週末だけのまちのみせ」9/28, 9/29実施（2000人来場） ・農産物・特産物販売促進事業：鹿野えもん市4/28, 10/27実施（1400人来場） ・河内果樹の里山まつり10/20実施（100人来場） ・芸能発表10/27実施（160人来場） ・作品展示10/5-10/31実施（1088人来場）	地域住民団体と共に複数のイベントを実施することで、地域に人を呼び込み、地域住民との交流を活性化する取り組みに繋がっている。	実行委員会で効果を検証し見直しを行いながら、引き続きわったいな祭事業を支援していく。	鹿野町総合支所	鹿野町総合支所地域振興課	293
10	○	インバウンド等滞在環境上質化事業費（物価高騰対応臨時交付金）	インバウンド需要のさらなる獲得及び本市を訪れる外国人旅行者の快適な周遊・滞在を実現するため、鳥取砂丘アクティビティ事業者が一体となった受け体制強化、ツアーオペレーション業務の試行、観光事業者が行う受け環境構築等に係る支援を行う。	・インバウンド等滞在環境の上質化のためツアーオペレーション機能の構築やアクティビティ人材育成のための講座等の開催のほか、閑散期のコンテンツ造成、多言語ガイド支援ツールの制作等に取り組んだ。 ・鳥取市観光ウェルカム事業補助金により観光事業者等が取り組む事業を支援した。 ①新たな観光コンテンツ・土産物の開発事業 3件 ②翻訳等多言語対応に係る事業 2件 ③キャッシュレス、予約受付システム等各種デジタル化につながる事業 1件 ④受け環境の上質化につながる施設改修等 1件 ⑤その他観光需要の創出や受け環境の上質化が見込まれる事業 5件	観光事業者が取り組む観光需要の創出や、受け環境の整備などに対し支援を行って、滞在環境の上質化を図ることができた。	観光事業者が取り組む観光需要の創出や、受け環境の整備などに係る支援を引き続き実施し、インバウンド需要のさらなる獲得を図る。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	317

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6～7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
11	○	国際観光推進事業費（物価高騰対応臨時交付金）	インバウンド需要の本格的な回復を見据え、外国人観光客の受入体制の整備や、効果的なプロモーション活動などを展開し、インバウンド需要の獲得による地域経済の活性化を図る。	台湾向け誘客プロモーションの実施 ・SNS・WEBサイトでの情報発信 ・台湾現地旅行博への出展（5/31～6/3） ・FAMトリップの実施（11/12～11/15） ・現地旅行会社の商品作成調整 欧米豪向け誘客事業の実施 ・FAMトリップの実施（9/10） ・麒麟のまち圏域観光情報冊子制作 ・HISのアンテナショップ（パリ）へ鳥取市PRブース設置（11/1～11/30） 国際観光客サポートセンターの運営 外国人観光客向け高速バス運行支援 ・関西方面（大阪、姫路）発鳥取駅バスタークニナル着の高速バス（鳥取行き方面のみ）に対し、外国人向け特別乗車料金（1,000円）を設定した高速バスの運行支援 【大阪】利用者数：大人2,057名、小人174名 【姫路】利用者数：大人165名、小人16名	台湾や欧米豪を中心に、効果的な情報発信を行い、外国人観光客の誘客を図った。また、高速バスの運行支援により多くの外国人観光客の二次交通として利用され、本市への周遊促進へつながった。	格安高速バスの運行支援の継続など、外国人観光客の受入環境の整備やおもてなし体制の強化を図るとともに、台湾など東アジアを中心としたプロモーション活動に取り組むことで、更なる誘客促進につなげる。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	317
12	○	観光産業育成支援事業費（物価高騰対応臨時交付金）	観光事業者が取り組む誘客活動や、受け入れ環境の整備などに対し支援を行うことで、本市の観光産業の育成及び観光振興を図る。	鳥取市観光産業育成支援補助金により観光事業者等が取り組む事業を支援した。 ①鈴泉源維持管理事業 1件 ②おもてなし向上事業 1件 ③外国人観光客促進事業 1件 ④観光商品開発・販路開拓事業 1件 ⑤観光客誘客イベント事業 5件 ⑥観光鳥取PR事業 1件	観光事業者が取り組む誘客活動や、受け入れ環境の整備などに対し支援を行うことで、本市の観光産業の育成及び観光振興を図ることができた。	国内外から本市を訪れる観光客の周遊や滞在における利便性を向上させるため、引き続き民間事業者の行う取り組みを支援する。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課	318